



なぞって練習

今余輩の勧むる学問も
もつぱらこの一事をもつ
て趣旨とせり。

端書

このたび余輩の故郷
中津に学校を開くにつ
き、学問の趣意を記
して旧く交わりたる同
郷の友人へ示さんがた
め一冊を綴りしかば、
或る人これを見ていわ
く、「この冊子をひと
り中津の人へのみ示さ
んより、広く世間に
布告せばその益もまた
広かるべし」

■ふりがな（青空文庫のふりがなより）

- ・端書【はしがき】
- ・旧く【ふるく】